

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成21年11月12日 (2009.11.12)

【公表番号】特表2009-508706(P2009-508706A)

【公表日】平成21年3月5日 (2009.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-009

【出願番号】特願2008-532385(P2008-532385)

【国際特許分類】

B 2 4 D 11/00 (2006.01)

B 2 4 D 3/00 (2006.01)

B 2 4 D 11/02 (2006.01)

【F I】

B 2 4 D 11/00 B

B 2 4 D 11/00 Q

B 2 4 D 11/00 P

B 2 4 D 3/00 3 1 0 F

B 2 4 D 11/02

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月15日 (2009.9.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 主要表面及び第 2 主要表面を有し、前記第 1 主要表面と前記第 2 主要表面とが互いに向かい合っている裏材と、

前記裏材の第 2 主要表面に固定された取り付け部と、

前記第 1 主要表面の中央部と接触し、その最厚部が前記第 1 主要表面の中央に近接する変形可能な材料と、

前記裏材の前記第 1 主要表面に固定され、前記裏材と共に前記変形可能な材料を包含する伸縮性部材と、

前記伸縮部材に固定され、研磨粒子及び結合剤を含む研磨部材と、  
を備える適合性研磨製品。

【請求項 2】

適合性研磨製品を製造する方法であって、

第 1 主要表面を有する圧縮性裏材を提供する工程と、

変形可能な材料を前記裏材の前記第 1 主要表面の中央部と接触させる工程であって、前記変形可能な材料の最厚部が前記第 1 主要表面の中央に近接している工程と、

伸縮性部材を前記裏材の前記第 1 主要表面に固定する工程であって、前記伸縮性部材及び前記圧縮可能な裏材が前記変形可能な材料を包含する工程と、

研磨部材を前記伸縮性部材に固定する工程であって、前記研磨部材が研磨粒子及び結合剤を含む工程と、  
を含む方法。